

＜総合的な学習の時間＞

未来社会を切り拓く確かな資質・能力の育成に向けた探究的な学習の充実とカリキュラム・マネジメントの実現

地域や学校、生徒の実態、特色に応じたカリキュラム編成

教師が伸びる

総合的な学習の時間は、地域や学校、生徒の実態、特色に応じたカリキュラム編成を行い、実施する。教師は、自ら教材を開発し、指導計画を作成し、授業を生み出すことで社会とかかわり生徒と共に学び伸びる。

生徒が育つ

情報化やグローバル化といった加速度的に進展する社会的な変化、誰もが予測できなかった未曾有の感染症に対峙していくような、たくましく未来を生きる生徒を、総合的な学習の時間を核として社会とつなげ育む。

地域を活かす

生徒が地域のことを考え、地域行事に参画したり、地域に貢献したりすることで、より一層生徒の学びのために協力しよう、生徒の活動を支えていこうという地域協力隊は増え、生徒の学びは深まる。

3年間の目標は1つ

西城を元気に⇒地域活性化



各学年のキーワードをもとに、単元開発を!

創造する1年目

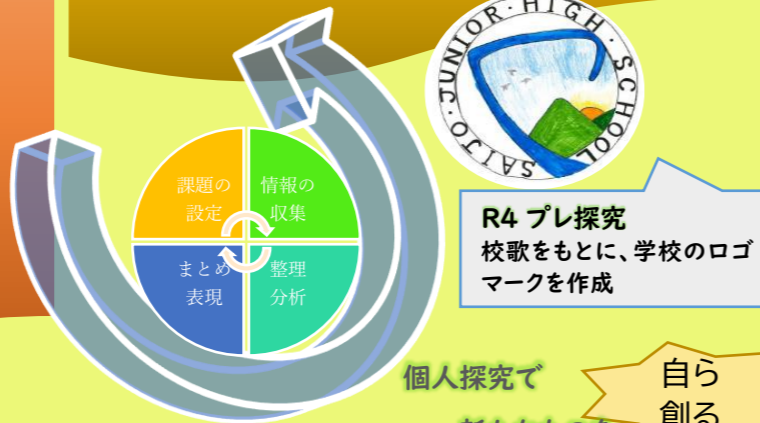
単元づくりの見直し

- 各学年の特色やこれまでの取組を踏まえ、学習テーマを「郷土を考える」に設定して単元づくりを行った。
- 単元全体をストーリー、その単元全体を構成する小単元をプロセスと定義し、単元づくりを行った。プロセスは、総合的な学習の時間の探究の過程である「課題の設定」、「情報の収集」、「整理・分析」、「まとめ・表現」の4つで構成した。ストーリーのゴールに向け、1つ1つのプロセスの後に課題を更新しながら連続したプロセスでの取組により生徒の資質・能力を高めていく。

挑戦する2年目

プレ探究

- 探究の過程を生徒に体験をもって理解させること、異学年集団による活動を仕組み各自の役割と協働性、上級学年のリーダー性を高めることをねらいとして、全校生徒による総合的な学習の時間をプレ探究として設定した。
- プレ探究は、ねらいを絞って1つの小単元(プロセス)で完結する単元構成とした。



R4 プレ探究
校歌をもとに、学校のロゴマークを作成

個人探究で
新たなものを
自ら
創る

これからを創造

生徒

変化の激しい社会においても、西城中学校での学びを生かし、主体的に、協働的に、課題解決に向けて取り組み、自分自身のよさや可能性を実感しながら、常に先の目標を持って歩み続ける。

教師

生徒が自らの夢を叶えるために、如何なる課題に対しても乗り越えようと挑戦できるよう、これからは教師は社会のつながりの中で学ぶことができるような単元更新と単元開発に挑戦していく。

取組実践

- ☆R5 プレ探究の取組
 - ・「西中発信プロジェクト」とし、中学校からの発信として地域に向けてできることを提案した。
 - ・表現の充実に向け、取組過程でポスターセッションを設定した。
- ☆竹原市立吉名学園との情報交流(3年)
 - ・クイズやインタビューなど、スライド資料に頼らない伝え方の工夫を実践した。
 - ・畑の開拓を計画し、実行する次の取組に活かした。
- ☆有志によるプロジェクト参加型の活動
 - ・自主参加で授業以外の時間で活動した。
 - ・プレ探究での提案から梅の収穫・ジャムづくりを実行した。

伸長する3年目

協働を力に

- 個々の得意や興味関心を引き出しながらチームのパフォーマンスを発揮させることをねらいに加え、縦割り班でのプレ探究を設定した。
- 他者から新たな視点を得て生徒が活動を充実させること、自らの活動を他者へ伝えることで生徒が表現力を高めることをねらいとして、他校との実践交流会を設定した。
- 生徒に自主的な探究を促すために、プロジェクト参加型の取組を設定した。

農家さんと一緒につくった案山子をモデルにしたキャラクター「かかっしー」

取組実践

- ☆熱意をもったプレゼン(1年)
 - 地域を元気にするためのイベントを企画し、学校運営協議会に提案した。課題を改善しながら複数回自分たちの提案をし、熱意を伝えた。
- ☆協働活動による表現(2年)
 - 職場貢献の取組を進展させ、模擬会社を立ち上げ野菜販売会を実行した。組織として報告や相談のやりとりを通して昨年度以上の成果をあげた。
- ☆新たな挑戦と伝統の創造(3年)
 - 新たな伝統のひとつとして、畑を開拓した。これまでのつながりがある地域の方の協力を得ながら、畑を完成させ、次の学年に継承した。

表現力を力に

- 全学年で自分の思いや考えを他者へ伝える場をプロセス(小単元)に位置づけた。校内では生徒間、校外では他校の生徒、地域の方々や関係機関の方々との交流や協議の中で、プレゼン形式に捉われない多様な表現方法で発表に取り組みせ、コミュニケーション能力を高めた。

探究レポート

- これまでの学習を生かしながら課題解決に向けて各自が取組を進める探究レポートの取組を夏季休業中の時間を利用して行った。
- 個人で仮説を立てさせ、探究方針(計画)を考えさせた。最後に、調べたことや計画に沿って実行したことを基に自分の思いや考えをまとめ、考察させた。

振り返りシート改善

- 生徒の変容を把握し、指導に活かすため、生徒に成長や変容を意識させるために振り返りシートの充実を図った。
- 毎時間の振り返りでは、具体的に取組めた状況を生徒に示し、ポイントを絞った振り返りにした。プロセスの振り返りでは、次のプロセスの目標や学習活動を設定させ、次の学習活動に見通しを持たせた。

毎時間の振り返りシート

★ 今日の学習を通して、できて良かったことを振り返ろう。	
○	出たばかりの所や知らないことを聞いて、調べたりした。
○	工夫したり改善したりしながら進んだ。
○	自分から聞く、自分から意見を言う、意見を述べたり、積極的に活動した。
○	活動の中で、自分の得意なことやできることを考えたり、行ったりした。
○	自分たちの取組が地域とどう関わっているか考えたり、地域のためにできることを考えたりした。
○	自分の生活を振り返り、自分の得意なことを考えたりした。
★ 具体的に自分の活動を振り返って、次の時間に活動しようとしていることを書きましょう。	
(自分で頑張ったこと)	(次の時間に活動すること)
電卓を使う前に計算機アプリを使う	農家の方に訪問して、お話を聞いて、お礼の手紙を書く
情報モラル講座に参加して、情報の取扱いについて学ぶ	お話を聞いて、お礼の手紙を書く
お話を聞いて、お礼の手紙を書く	お話を聞いて、お礼の手紙を書く
お話を聞いて、お礼の手紙を書く	お話を聞いて、お礼の手紙を書く

モヤモヤ

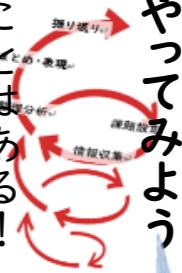
令和3年度

探究ってなんだろう？

▼探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業指定校になる
探究って・・・?! 子供も先生も一緒に挑戦

▼とりあえず手探りでやってみよう

課題の設定の工夫
探究の流れをつかむ
コロナ禍：でもできることはある！
教師のフィールドワーク！



経験



おもちゃ
研究所

制作



学習のあしあと

キャラクター作り⇒

ドキドキ

令和4年度

こういうことかな？

▼学習環境から工夫していろいろ
成果物を壁や廊下等に掲示
昨年度の学習の足跡づくり
ICTもやってみよう！



ブース



▼プレ探究スタート！
テーマ「学校生活をよりよく楽しくするための取組を考えよう」

▼推進リーダーによる理論研修
単元ってどう作ればいいのか？
課題は「情報収集」「まとめ・表現」

▼自ら歩いて地域とつながる
教師のフィールドワーク！
少しずつつながる地域と学校
児童の自己評価を！



地域
連携



出張
ミーティング

保小連携



わくわく

令和5年度

いよいよ集大成だ！

▼バトン探究でつなげよう
各学年の学びを下学年に伝える

学校運営
協議会で
発表



▼推進リーダーによる理論研修で方向性を揃えて
今年度の課題は「表現力」「整理・分析」

▼今年もプレ探究！

テーマ「新しく来られた先生方に、
西城のことや西城小学校のことを伝えよう」

▼もっと地域とつながる

教師のフィールドワーク！
ゲストティーチャー・インタビュー・見学
地域からの依頼も！

灯笼作ってください

▼自分達の計画を実行！

祭りへの参加・出店
これまでの学習を活かして



制作



自分たちの想いを実現！



ヒバゴン井



地域のお店とコラボしたい！



商品
開発

フィールド
ワーク



ゲスト
ティーチャー



これからも自分達で考え、行動し、つなげていく

西城小学校の探究的な学習

これまでの

歩み

小中連携



単元づくりや
西城中学校の
現状・課題を共有

推進リーダー
による研修



校内研修への参加



交流



統一した取組！

- アンケート
- プレ探究
- 振り返りシート



プレ探究とは・・・

3～6年生の縦割り班に分かれ、課題を解決していく活動！
異学年で行うことで、リーダーの育成ができ、探究の流れをとらえることができます。

